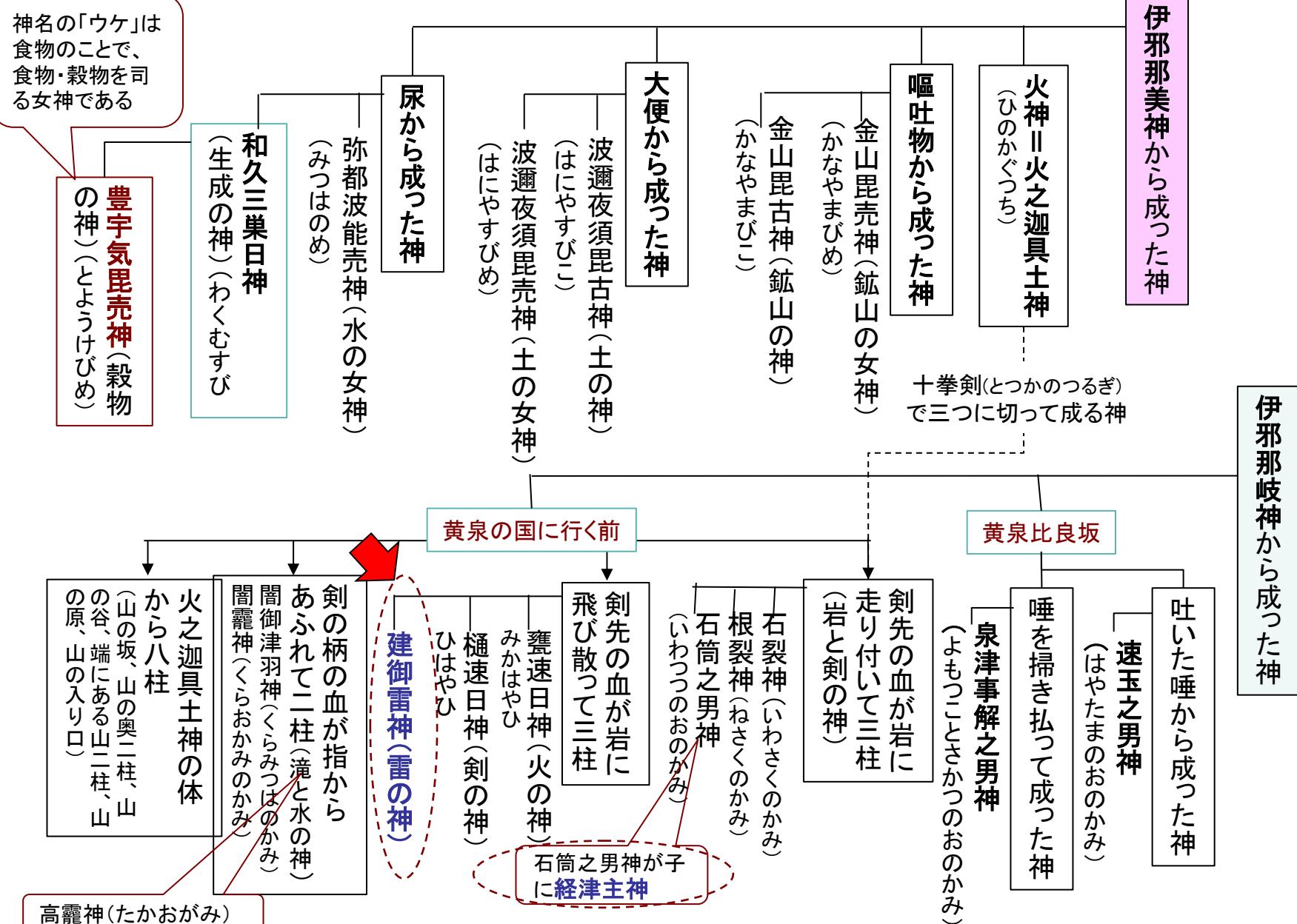


日本の古代史とその文化シリーズ9

「大和と平安京を創った人々」

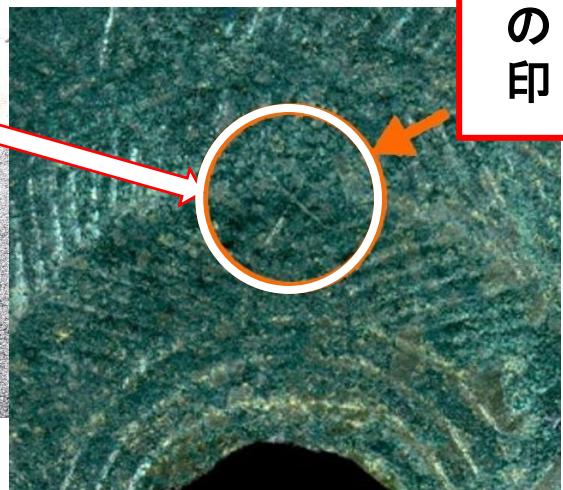
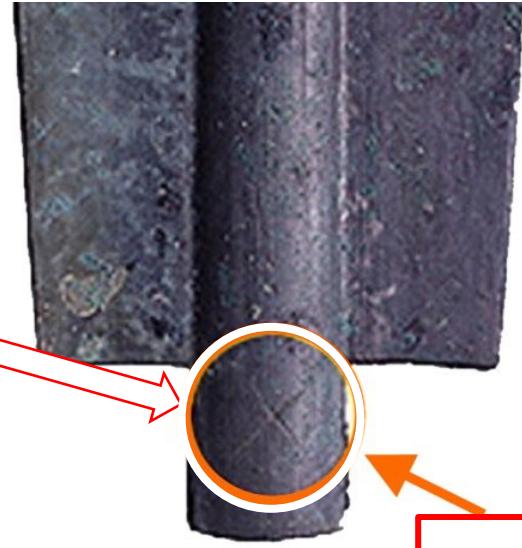
参考資料：第1回「国譲りと天孫降臨」

# 参考資料1－1：武御雷神と経津主神の位置づけ



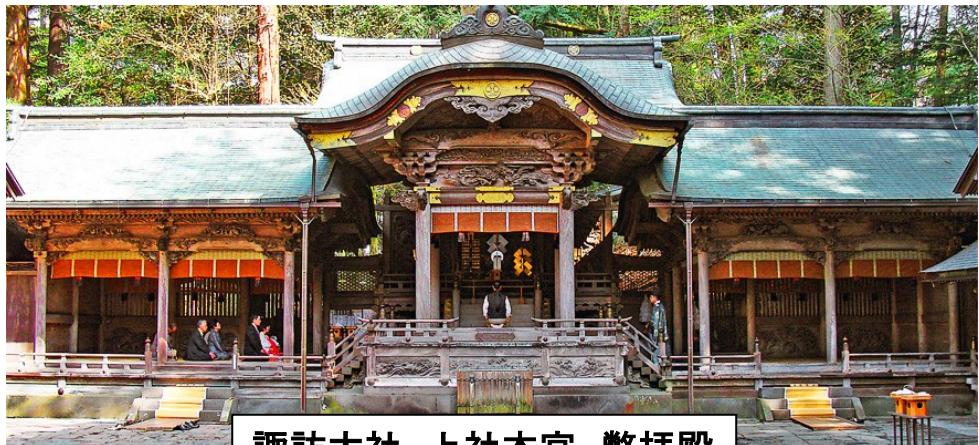
## 参考資料1－2:荒神谷遺跡と加茂岩倉遺跡出土品の「X」印

出典: ウィキペディアから図柄引用



# 参照資料1－3：諏訪大社

出典：ウィキペディアから図柄引用



祭神：建御名方神(たけみなかたのかみ)



祭神

- \* 建御名方神(たけみなかたのかみ)
- \* 八坂刀売神(やさかとめのかみ) - 主祭神。
- \* 八重事代主神(やえことしろぬしのかみ)



祭神：八坂刀売神(やさかとめのかみ)



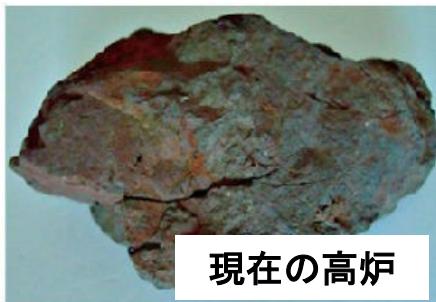
# 参考資料1－4－①：古代の鉄

出典：「鉄から見た我が国の古代史」高効率発電システム研究所 吉田敏明

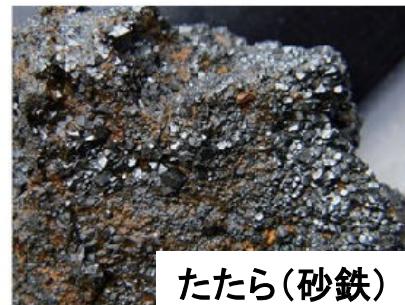
課題鉄  
の種類



渴鉄鉱



現在の高炉



たたら(砂鉄)

磁鉄鉱



明神平鉄滓



0 ————— 5cm

鉄塊

湖沼鉄からの鉄滓



鍛造品



名寄鉈石



湖沼鉄(渴鉄鉱)

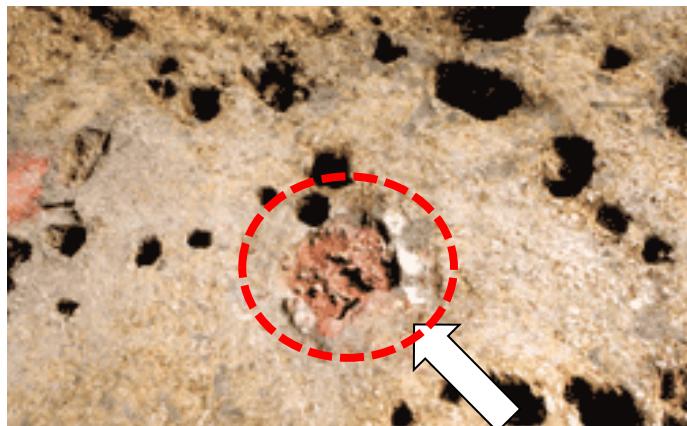
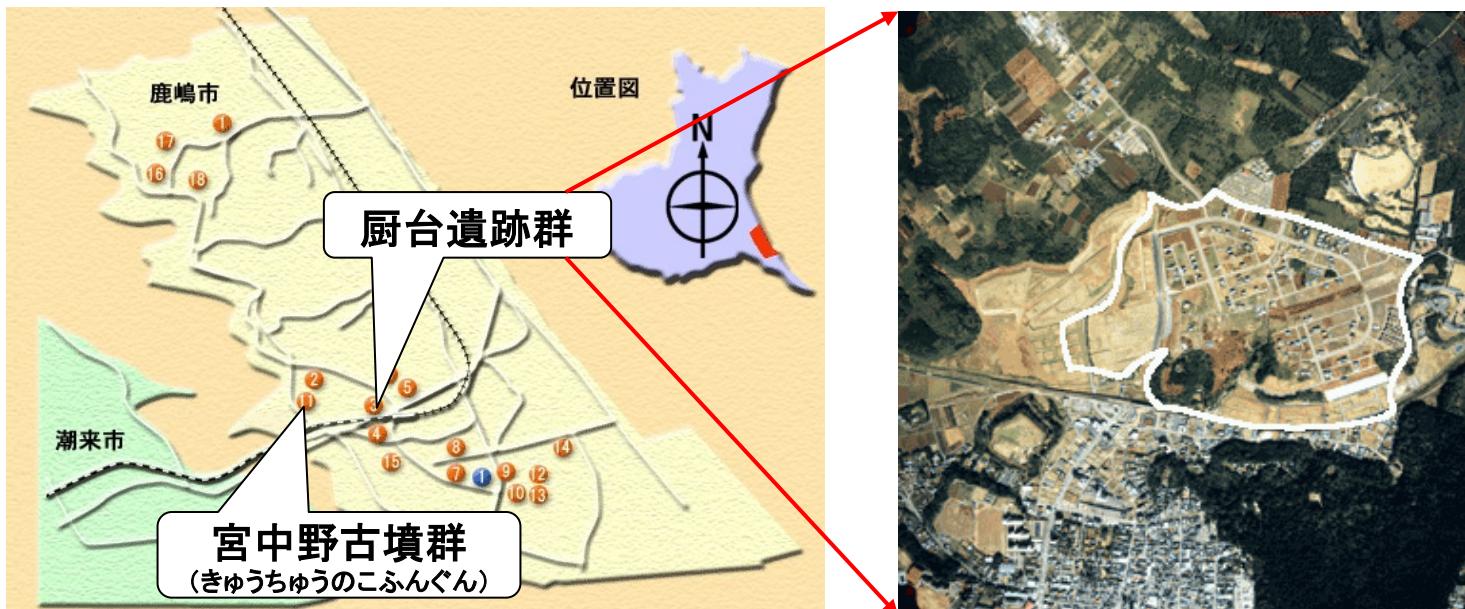
高師小僧



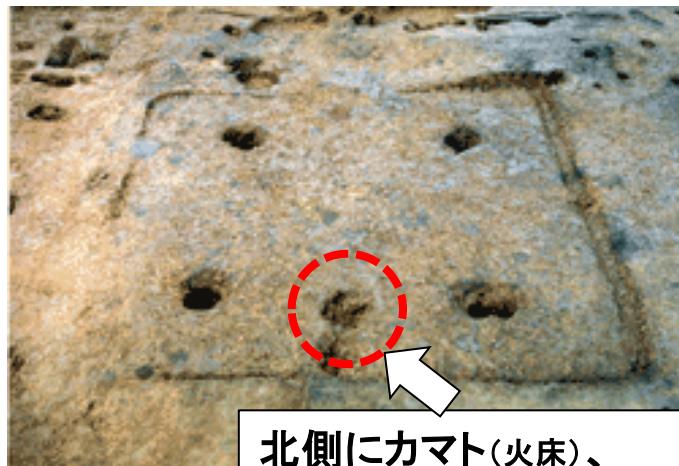
図5 赤褐色の沈殿と油模様の酸化鉄<sup>(2)</sup>

## 参考資料1－4－②:厨台遺跡群

出典: ウィキペディアから図柄引用



縄文時代中期の住宅跡。中央は炉跡です



北側にカマト(火床)、  
4本の穴は柱の穴です

## 参考資料1－4－③: 鉄精錬の技術

### (1) 千葉県沖塚の大鍛冶と小鍛冶セットの遺跡

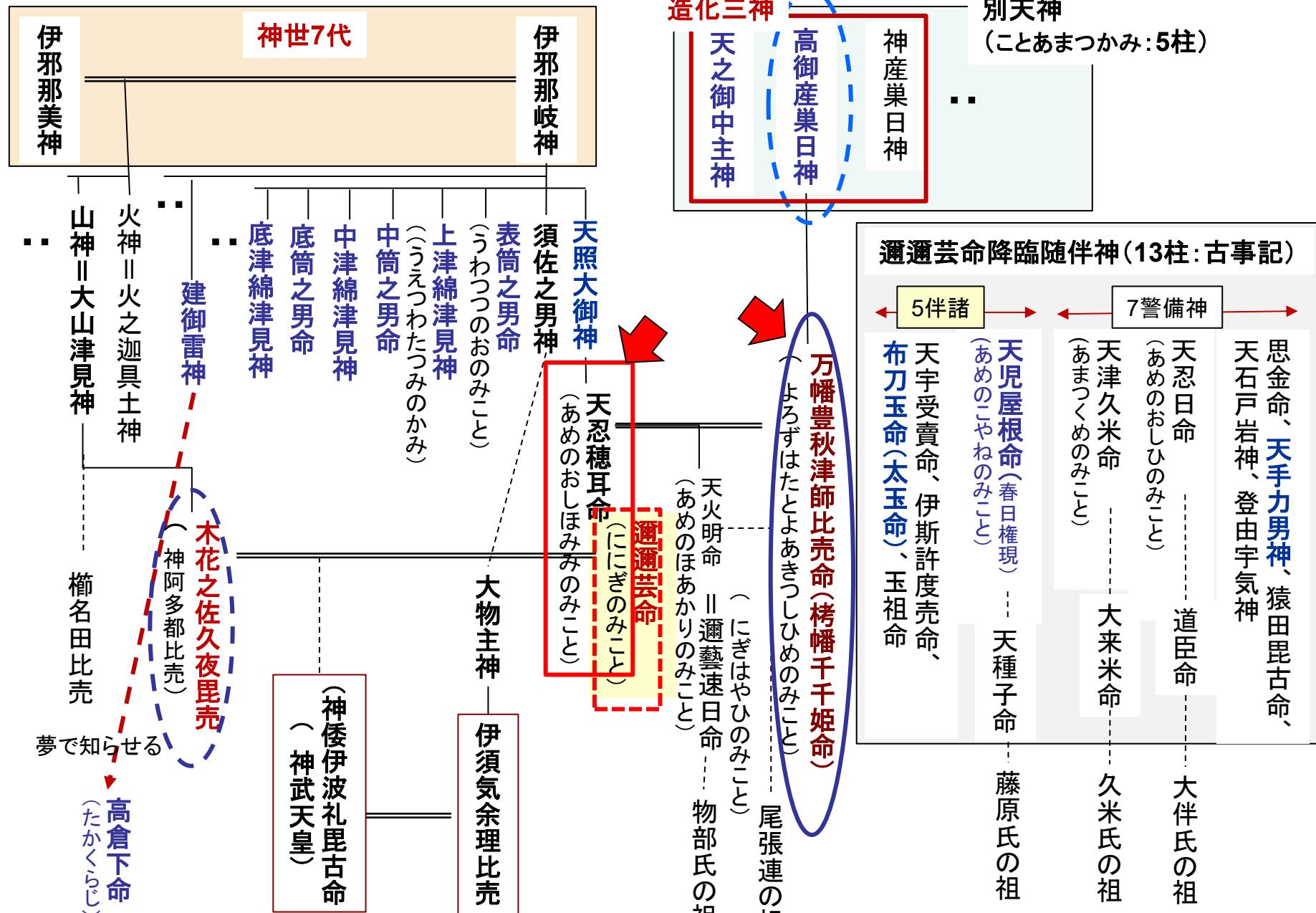


### (2) 弥生一古墳時代の主な精錬・鍛造遺跡

遺跡名	年代	出土	融点
京都・扇谷	弥生初頭(前10世紀)	鉄滓(溶融あり)	(銅の溶融温度1084.5度) * 湍鉄鉱は400度
鹿児島・王子	弥生中期後半	鉄滓	* 銀鉄の溶融 温 度は1200度
福岡・赤井手	弥生中期後半	鉄塊系遺物	* 磁鉄鉱(砂鉄)は 1538度
石川・奥原峠	弥生後期中葉	鉄塊系遺物	* 赤鉄鉱(高炉)は 1550度
千葉・沖塚	古墳初頭	鉄滓	

出典:「古代の鉄素材と鍛冶」(ohmura-sutady.net)

# 参考資料1-5:高御産巣日神と高天原の関係



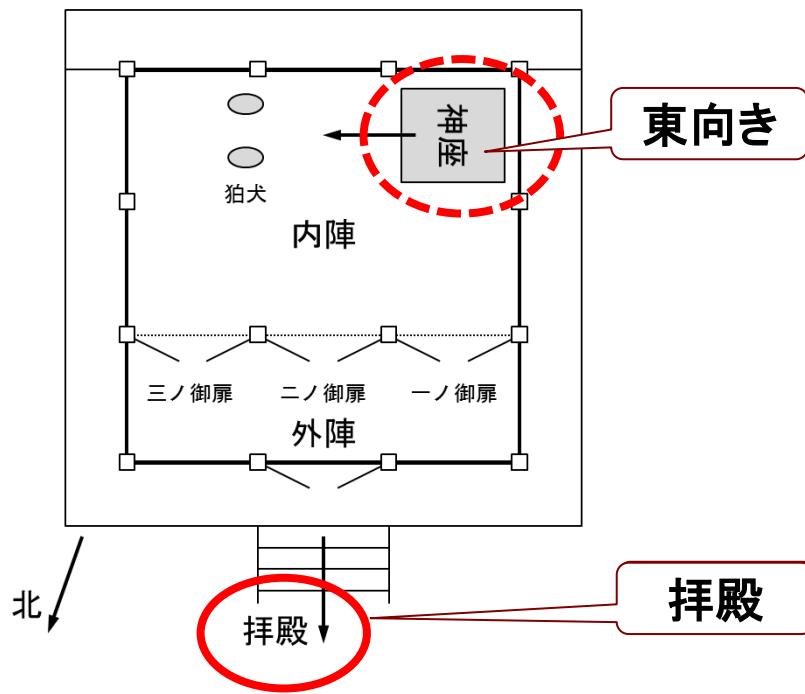
## 參照資料1－6: 東國三社(鹿島神宮、香取神宮、息栖神社)



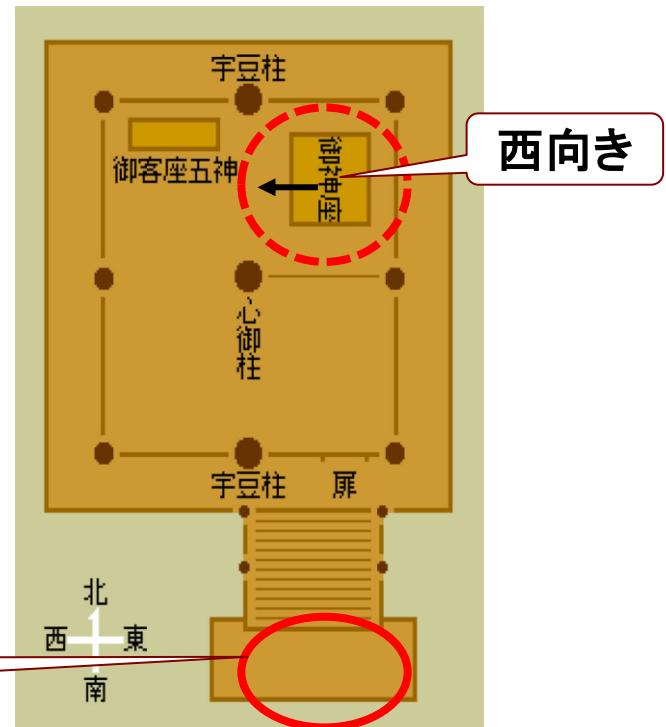
出典: ウィキペディアから図柄引用

## 参考資料1－7:鹿島神宮と出雲大社の神殿

出典: ウィキペディアから図柄引用

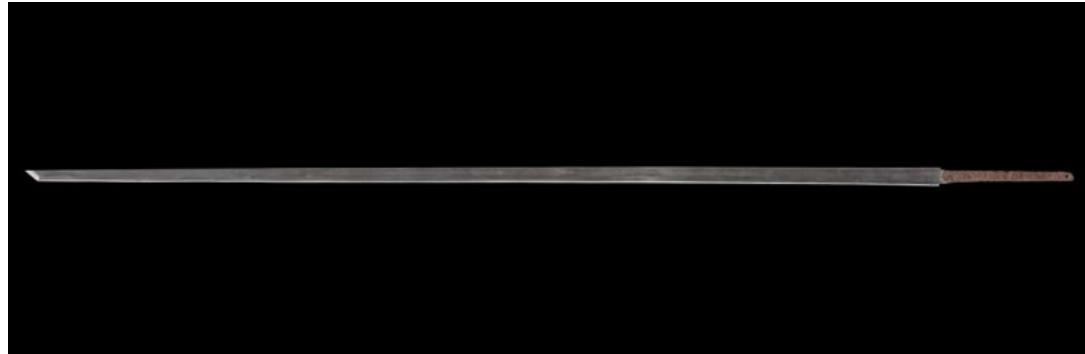


鹿島神宮神殿



出雲大社神殿

## 参考資料1－8：鹿島神宮の直刀 篔靈劍(ツノミタマノツルギ)



出典: ウィキペディアから図柄引用

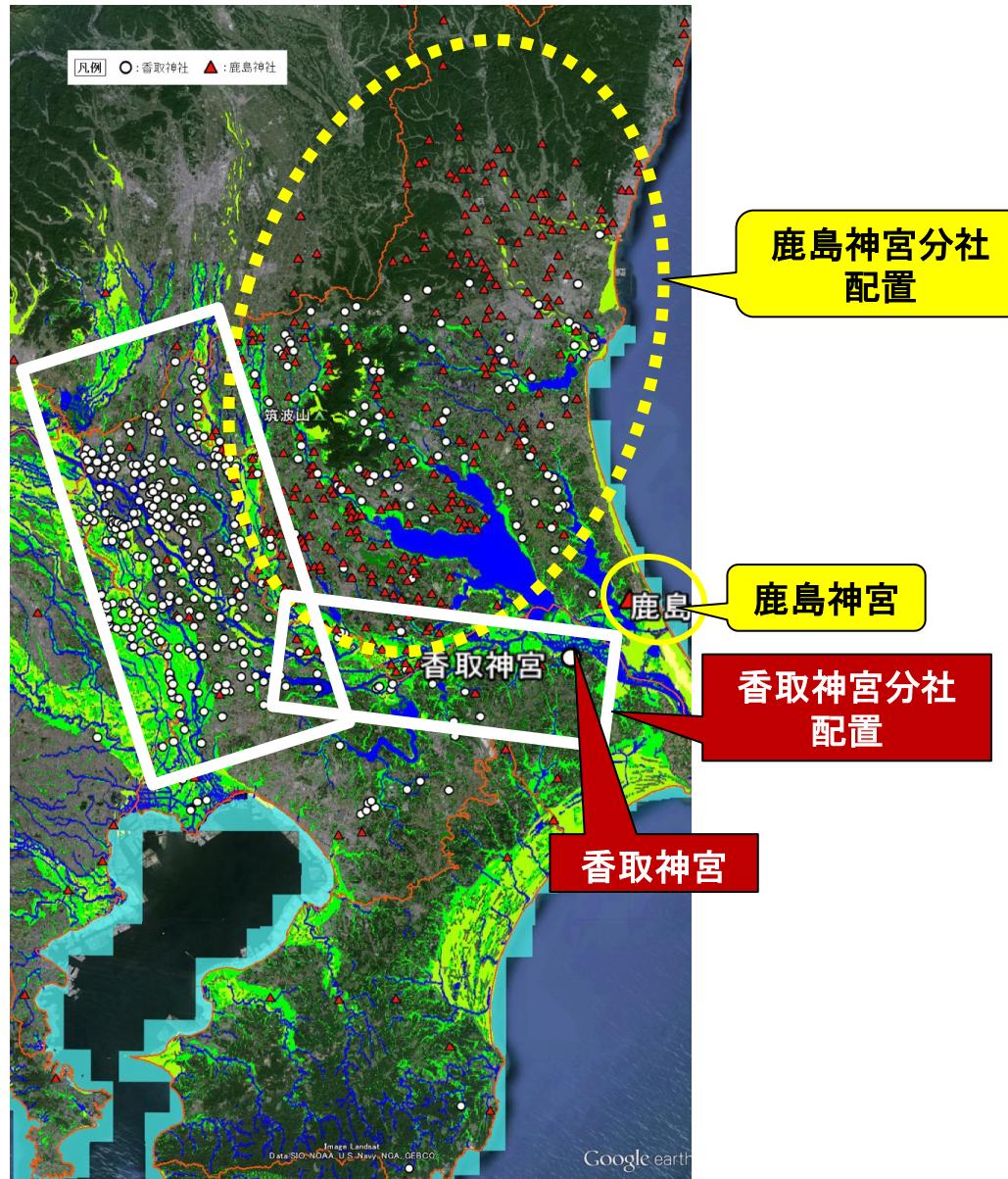
## 参考資料1－9:鹿島神宮 御船祭

出典: ウィキペディアから図柄引用



## 参考資料1－10:鹿島神宮と香取神宮の分社配置

出典: ウィキペディアから図柄引用



## 参考資料1－11：筑波山(二神山)と筑波山神社

出典：ウィキペディアから図柄引用



## 参考資料1－12:鹿児島神宮

出典: ウィキペディアから図柄引用

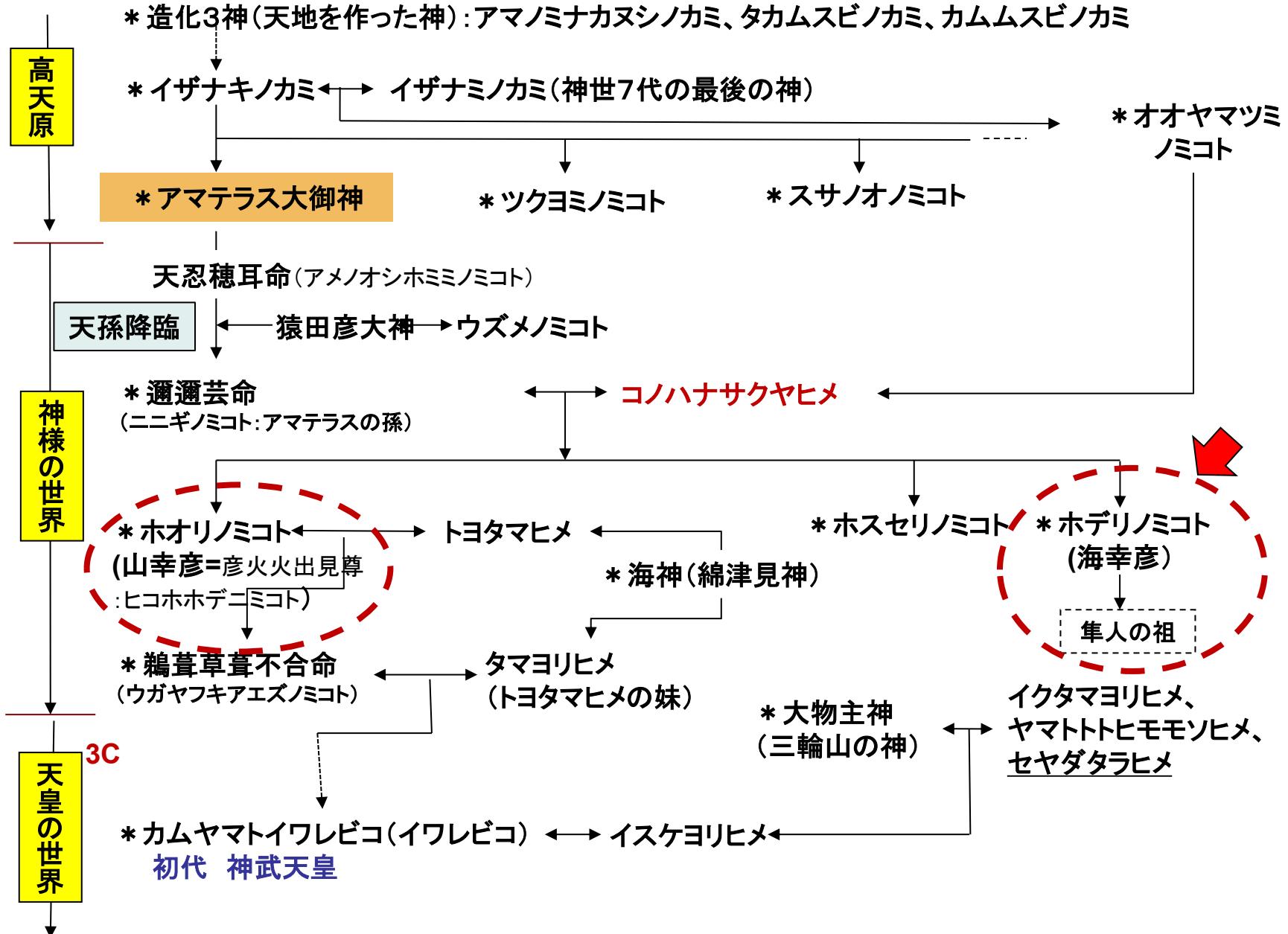


### 主祭神

彦火火出見尊 (ひこほほでみのみこと) (山幸彦)

豊玉比売命 (とよたまひめのみこと)

# 参照資料1－13: 鹿児島神宮と隼人の祖神



## 参照資料1－14:鹿児島神宮と霧島神宮

出典: ウィキペディアから図柄引用

